

半田市立半田病院経営強化プラン 概要版

第1章 経営強化プラン策定について

1 経営強化プラン策定の目的

医師・看護師等の医療資源の不足、人口減少や少子高齢化の急速な進展に伴う医療需要の変化、医療の高度専門化など経営環境の急激な変化
⇒これらに対応した「持続可能な地域医療体制の確保」が必要

2 計画の対象期間

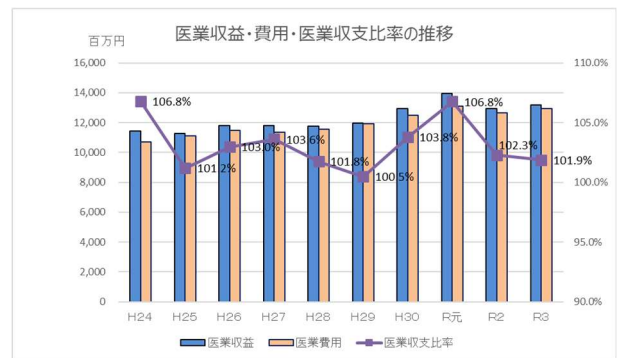
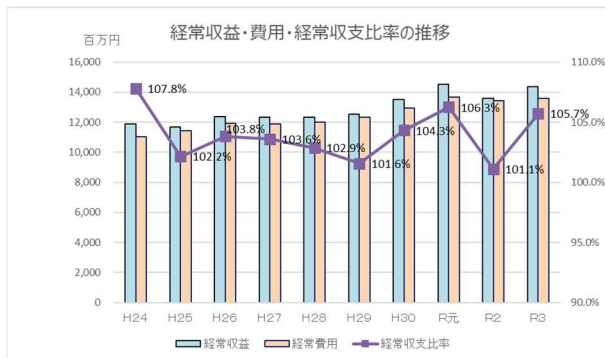
令和4年度から令和6年度

※令和7年4月に地方独立行政法人化による常滑市民病院との経営統合を予定しているため、令和6年度までの計画とする

第2章 半田病院の概要について

1 施設概要

2 経営状況等



- ・「経営収支」「医業収支」とともに黒字を継続 ⇒ 全国でも優秀な経営状況
- ・入院、救急ともに市外患者が50%前後で推移 ⇒ 地域の基幹病院の役割

3 新病院建設、4 地方独立行政法人化と常滑市民病院との経営統合

- ・老朽化した施設の更新にあたり、半田市及び地域の災害対策を踏まえ、常滑市民病院と近接する場所への新築移転を決定し、令和7年春の開院予定
- ・近接地への移転となることから、有識者による「常滑市・半田市医療提供体制等協議会」を発足し、協議を重ねた結果、令和7年4月に地方独立行政法人として常滑市民病院と経営統合することに合意



年月	内容
平成30年6月	常滑市・半田市医療提供体制等協議会設置に関する協定書を締結
平成30年7～10月	常滑市・半田市医療提供体制等協議会を設置し、協議を行う
平成30年11月	常滑市・半田市医療提供体制等協議会報告書を半田市長・常滑市長に提出
平成31年2月	半田市と常滑市の病院連携協議に関する合意書等に調印
令和元年5月	半田市立半田病院・常滑市民病院統合会議設置に関する協定書を締結
//	半田市立半田病院・常滑市民病院統合会議を設置
令和3年2月	半田市と常滑市の病院経営統合に関する協定書を締結

第3章 経営強化プラン

1 役割・機能の最適化と連携の強化

- ・ 圏域唯一の救命救急センターとして、引き続き、高度急性期・急性期医療を担うとともに、災害医療、周産期・小児医療などの政策的医療についても役割を継続
- ・ 地域の医療機関や福祉・介護サービスとの機能分担と連携強化
- ・ 半田病院が主に急性期医療、常滑市民病院が主に回復期医療等を担う

2 医師・看護師等の確保と働き方改革

- ・ 役割・機能に対応した医師・看護師等の医療従事者の安定的な確保と人材育成
- ・ 医師の働き方改革への対応

3 経営形態の見直し

- ・ 令和7年4月に地方独立行政法人化による常滑市民病院との経営統合を予定
- ・ 地方独立行政法人化・経営統合の主なメリット
 - 急性期から回復期まで切れ目のない医療を提供
 - 医療従事者の確保をはじめとする人事管理の弾力化
 - 診療機能分担、弾力的な予算執行による効率的な病院運営

4 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

- ・ 地域医療を維持するためには、救命救急センターとしての機能維持を最優先
- ・ 新型コロナ等の新興感染症に対しては、常滑市民病院をはじめ圏域の医療機関等との緊密な医療連携・機能分担を行う

5 施設・設備の最適化

- ・ 新病院建設にあたっては、高度急性期医療をはじめとする当院に求められる役割・機能を果たすのに必要な機能を整備
- ・ デジタル化の推進とセキュリティ対策の強化

6 経営の効率化等

【具体的な取組】

- ① 経営企画部門の体制強化
- ② データベース・ベンチマークの活用
- ③ 経営分析の強化
- ④ タスクシフトによる医療の充実
- ⑤ 地域医療機関との連携強化
- ⑥ 働き甲斐のある職場づくり
- ⑦ 投資計画の平準化
- ⑧ 内部統制によるリスク評価と業務の効率化